

米政府が個人情報収集



英紙ガーディアンのインタビューアに応じるエドワード・スノーデン氏のビデオ画像(6日、香港ガーディアン提供、ロイター=共同)

〔ワシントン共同〕英紙ガーディアンと米紙ワシントン・ポスト(いずれも電子版)は9日、米国家安全保障局(NSA)が市民の通話記録やインターネット上の情報をひそかに収集していたことを紙に暴露したのは、米中央情報局(CIA)の元職員でコンピューター技術者のエドワード・スノーデン氏(29)だと明らかにした。本人の了解を得て公開した。同氏はオバマ政権下で市民に対する監視が強化されたことに失望したと説明。ガーディアンが公開したインタビュー映像では「政府がプライバシーやインターネットの自由を破壊するのを許せなかつた」と語った。

元CIA職員が暴露 プライバシー侵害は許せない

設の管理に当たったこと

もあるという。◎

米政府が一般市民の通

話履歴やインターネット

上の個人情報をひそかに

収集していると、米中央

情報局(CIA)元職員

が暴露した。収集対象は

外国人にも及ぶとされ、

オバマ大統領の「手法」

に内外から懸念の声が上

が懸念される。ネット時代のテロ

対策にプライバシーの犠

牲は不可避免なのか。全米

が懸念する。

米政府が

監視さ

れることになる。

一方、ブリザックは米国

に居住する外国人が対

する米国民の日々の通

話履歴がNSAに監視さ

れることになる。

ブリザックは米国

に居住する外国人が対

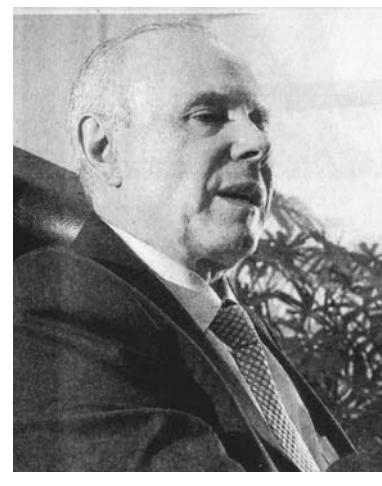
する米国民の日々の通

話履歴がNSAに監視さ

れることになる。

一方、ブリザックは米国

中銀が為替市場に連日介入



舵取りに苦しむマンテガ財相

米国の景気回復機運が高まる中、伯国ではドル高傾向が続き、10日、11日の為替市場では中央銀行が1日2度の介入を実施。11日付伯字紙によれば、政府がドル流入を促してドル高に歯止めをかけようとしているのに、国外投資家の信頼度は低下。S&Pの成長予想も2・53%に下方修正された。

経済成長は2・53%?

家による固定利回り商品への金融取引税(10ドル)と課税撤廃を発表。他の対策も検討中だが、米国格付会社スタンダード& Poor's(S&P)は6日、鈍い経済成長に対する信頼性悪化などを「安定的」からスケシコやコロニビア並みの「弱含み」に引き下げた。

S&Pの格付変更は外

国人投資家の信頼感指数にも反映され、4月30日は173点だった指数

が5月31日202点、6月6日210点、7日

218点と悪化の一途。

外人投資家の信頼感

下は11日の聖市証券市

場にも表れ、午後3時現

在のイボヴォースペは4万

943ポイントと2・

68%下げた。

外国人投資家の信頼感

下は国外投資減少と共に

国債額の低下と利子

率は173点だった指数

が5月31日202点、6月6日210点、7日

218点と悪化の一途。

外人投資家の信頼感

下は11日の聖市証券市

場にも表れ、午後3時現

在のイボヴォースペは4万

943ポイントと2・

68%下げた。

外国人投資家の信頼感

下は国外投資減少と共に

国債額の低下と利子

率は173点だった指数

が5月31日202点、6月6日210点、7日

218点と悪化の一途。

外人投資家の信頼感

下は国外投資減少と共に</

